



ROTARY CLUB OF

NARA - WEST

DISTRICT 2650

WEEKLY BULLETIN

No. 2438

2022. 5. 26

創立 1969年(昭和44年)12月13日

例会日 毎週木曜日18:00より

事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地

例会場 奈良ロイヤルホテル内

TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2021～2022年度
国際ロータリーのテーマ2021～2022年度
地区のスローガン

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「活力と輝き」

国際ロータリー会長
シェカール・メータRI第2650地区ガバナー
馬場 益弘

福川会員 NHKビル(京都市中京区)

会 長	植野 洋志	副 会 長	安井 清悟
会 計	寺田 信弘	会 場 監 督	松 中 隆
理 事	小 松 玲 子	会 報 委 員 長	佐 川 寛 一

会長エレクト 渡邊 巍

直前会長 佃 尚彦

幹 事 下村 由加里

理事 笹本 麻琴

理 事 猪上 正孝

理 事 榎木 晋作

今月は 青少年奉仕 月間です

第25回(2438回)例会プログラム令和4年5月26日(木)

合同例会

平城京ロータリークラブ
奈良西ロータリークラブ

靈山寺にて

第24回 (2437回) 例会報告 2022. 5. 19

ソング

「奈良西RCの歌」

来訪者紹介

川上 顕慶様 株式会社エムビー
関 嵐月さん 米山獎学生

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通算 2437回	41	5/8	21/33	12	68.4%
通算2435回修正	41	8/8	33/33	0	100.0%

会長の時間 (植野会長)

皆様、こんばんは。

本日も例会に参加いただき有難うございます。

クラブアッセンブリーありがとうございました。

本日は布崎会員の卓話があります。布崎会員、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、先週の土曜日に若狭ロータリークラブの60周年記念式典に下村幹事と一緒に行ってまいりました。若狭ロータリークラブさんが例会をしているホテルの前は、新しく開発されたところで、その目玉となっている「旭座」という芝居小屋で行われました。この芝居小屋は福井県で唯一現存する明治期のもので、小浜市(おばまし)住吉区から移築復元されたものだそうです。ちなみに、小浜は、先のアメリカ大統領と同じOBAMAで有名になったところです。数分歩くとそこには日本海で、小浜湾となっており、全体を見渡せ、ゆったりとした時間を楽しめました。古くは朝鮮半島との交易や、南蛮船が渡來したということで、多くの仏像、仏画、文献などが残っているそうです。私は京都から大原を抜けてまっすぐ北に進む「鯖街道」を通って若狭まで1時間半ほどドライブしました。途中に鯖寿司のお店が数多くあったので楽しみにしていたのですが、残念ながら、鯖寿司にはありつけませんでした。

先週ご報告しましたように、祝賀会は中止になりましたが、事前に送つておいた当クラブからの祝辞は、他の来賓の方々の祝辞と一緒に冊子にまとめられており、本日、回覧させていただいたように、参加者全員に配布されておりました。私たちは、友好クラブで、他に埼玉の川越ロータリークラブさんが姉妹クラブとしてお見えでした。

川野姉妹友好クラブ委員長さんに作っていただいた祝辞が立派に役立ちましたこと、改めてお礼申し上げます。

若狭ロータリークラブの藤本会長さんとは少しお話ができました。機会があれば、奈良にも来ていただけるとのことでした。式典の最後には、桂あやめさんの落語があり、楽しませていただきました。以上、報告いたします。これで会長の時間をおわります。

植野洋志会長

本日も例会に出席して下さりありがとうございます。
アッセンブリーお疲れ様でした。
布崎会員、卓話楽しみにしております。

**谷垣嘉輝会員、猪上正孝会員、渡邊巖会員、
木村和弘会員**

川上様、本日はお忙しい中例会にお越し下さり、
ありがとうございます。

**佐川寛一会員、下村由加里会員、金田宗寛会員、
東山光秀会員、野阪幸男会員、小松玲子会員、
寺田信弘会員、福川益則会員、中井肇一会員、
加藤又拡会員**

アッセンブリーお疲れ様でした。
布崎会員、卓話楽しみにしています。

山川喜平会員

「オペラ座の怪人」華族例会は本日が締め切りです。多数のご参加、心よりお待ちしております。

布崎嘉樹会員

初めての卓話で緊張しています。
よろしくお願ひします。

例会変更は会場入口の掲示でご確認ください。
次週移動例会の受付開始は午後5時です。
奈良西RCホストなので例会設営のお手伝いに
ご協力をお願いします。

できるだけ午後5時にお集まりください。

**卓話****「自己紹介」****布崎 嘉樹 会員**

昨年の12月のガバナー訪問の時に入会させていただきました布崎嘉樹と申します。昭和48年生まれで、同級生の有名には宮沢りえや松嶋菜々子がいます。

山口県岩国市生まれで、錦帯橋と米軍基地が有名です。

錦帯橋は桜の時期がきれいです。自宅から自転車で10分ほどのところに米軍基地があります。沖縄で基地が歓迎されていないニュースを耳にしますが、共存している基地の街岩国で育った私には随分違和感があります。

中学の同窓会に集まった仲間の4人に一人くらいは基地関係の仕事についていました。基地がないと経済が成り立たない街だったのだと、随分後になって気がつきました。

小さい頃の記憶といえば、爺ちゃんの膝の上で大岡越前の再放送を見ていたくらいしかありません。高学年になると、岩壁で夜釣りをするようになり、毎日20センチから30センチくらいのチヌを釣ってました。父はビルの空調や衛星の配管工をしており、両親共に義務教育だけでしたので、父は学歴コンプレックスが強かったようで、私の勉強についてのプレッシャーは強かったように思います。私立中学を受験するのですが、全滅します。教訓としては、できなかった問題を出来るようにならないといけないということですが、これも高校生になってヤット気が付きます。



卓話(続き)

受験に失敗したこともあってか、中学1年生の時には登校拒否で学校にほとんど行っていません。2年生から学校に行き始めますが、キッカケとしては家の借金問題でした。時はバブルの最中でしたが、我が家には全く関係なく、「登校拒否など続けてたら、一生この貧乏から抜け出せないぞ！」と気が付きまして、そこでスイッチが入りまして、登校も始め勉強もするようになりました。高校も志望校に補欠ですが合格することが出来ました。高校は片道90分かかりましたが、電車の中で数学の問題集をすることで、あっという間の通学でした。時間貧乏のクセがこの頃からついてきました。父からは東大に行けとハッパをかけられていきましたが、3年生の秋に彼女が出来まして、勉強どころではなくなり、浪人するハメになります。浪人してすぐに彼女にフラれてしまい、勉強頑張ると決意したのも束の間、新しい彼女が出来てしまい、結果として東大は落ちて私立大学に行くことになります。実家から月に10万円の仕送りをしてもらうのですが、家賃と光熱費で大半を使ってしまうので、家庭教師や塾講師のアルバイトをたくさんしました。進学した経済学部が留年の確率が高い学部と知って、震え上りました。周りと比較して10万円の仕送りは少ないと思ってましたが、今の自分のことを考えると、とんでもない履き違えをしていたと思います。その立場にならないとわからないもんだなとつくづく思います。

入学式の日に、落語研究会に入部することと決めますが、決め手は、「昼も夜も、先輩かご馳走してくれる伝統がある」と聞かされたことでした。

ここにいれば食いっぱぐれることはないとと思ったからです。意外と縦関係がしっかりしていました、「1年アーバ、2年虫ケラ、3年人間、4年天皇」と聞かされました。

意外にも練習会も真面目で、鬼のような顔をして睨む先輩の前で、落語を口演して技術的精神的なダメ出しを受けます。長期休暇を利用して、全国の老人ホームや精神病院の慰問に行きます。ここで老人との接点があったことが、第一生命に入社する一因にもなっているのかなと思います。

就職氷河期の就職活動ですが、落語研究会という珍しさもあって、全く苦労なく内定をもらうことが出来ました。お金を借りるのではなく、貸す方がいいなと思って銀行を志望し内定をいただきますが、紆余曲折あって第一生命にご縁をいただきました。落研のおかげで、憧れていた華やかなサークルの仲間たちとは異なり、就職活動は苦労知らずでした。この頃、「他の人と同じことをしていたら、同じようにしかならない」という教訓を得ます。

久留米支社に配属となり、入社前日に挨拶に行くと、応接に通されました。お茶を出してくれた女子社員に表玄関から入ってきたことを指摘され、従業員は裏玄関から入ってくるように厳しく指導されました。それが今の妻です。オペラ座の怪人に参りますので、よろしくお願ひします。

入社してから、久留米、所沢、日比谷、岡山、徳島、明石、姫路と転勤しまして2年前から奈良に来ています。転勤が多いと馬の合わない上司ともぶつかります。上司とソリが合わずに1年で担当替え(左遷)されたこともあります。このままうだつの上がらない会社人生を送るよりはと、「支社長の下で機関長をさせてください」と自分にバッテンをつけた上司の懐に飛び込んで、人気のない営業所長にしてもらってからは、部下に恵まれて順調に会社人生を送らせてもらっています。「身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあるれ」という教訓を体感しました。歩合給の営業員を動かすのは、命令ではなく人間関係と誠意。滅私奉公が大事というのも肌で感じております。

ロータリーには友達が欲しくて入会しました。ゴルフを頑張りたいのでよろしくお願ひします。子守りのある土日より平日の方が嬉しいです。

私の仕事のコマーシャルです。

地域密着を考えており、弊社の従業員を地場の企業に出向させ、本人は社外経験で成長、企業様は育成コストや早期退社リスクの減少、弊社は効率的な人財配置という三方良しを目指しております。30名以上の企業などの条件がありますが、検討いただければ幸いです。9/2にビジネスマッチングを梅田で行います。魅力的なホスト企業を揃えております。参加者同士の名刺交換会などもご用意しておりますので、ぜひご参加ください。6月に新入社員向けのビジネスマナー研修を実施します。三条通りの弊社奈良支社で開催します。いずれも無料で、弊社とのお取り引きの有無は問いません。会が盛り上がる事が大切ですので、よろしくお願ひします。



**奈良西ロータリークラブ
通 信**

55周年に向けて

職業奉仕の重要性

ロータリーカブはさまざまな奉仕活動を行っているが、ロータリアン（ロータリーカブの会員）個人としての重要な奉仕活動は「職業奉仕」だ。職業奉仕とは「4つのテスト」（真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためとなるかどうか）に基づき、自身の職業の倫理性と高潔性を高め、職責を通して社会に貢献すること。

ロータリーカブにおいて1月は職業奉仕月間であり、例年、1月に職業奉仕月間であります。職業奉仕功労者5人表彰

奈良西ロータリーカブの植野洋志会長は、これまでの職業奉仕に対する賛嘆を述べました。

（第3回掲載予定）

職業を通じて社会に貢献したことを表彰された職業奉仕功労者と植野会長（右から3人目）

方を顕彰している。本年はコロナ禍で例会の中止が続いたこともあり、1月の表彰はできなかつたが、4月28日に職業奉仕功労者表彰を行つてやがれた。当日は、靈山寺、谷垣工業所、辰巳製作所、喜一グループ、医療法人あすか会において、職業を通じて社会に貢献されている5人の方々を職業奉仕功労者として表彰させていただいた。

表彰を受けた方々は、これまでの職業奉仕とこれからの方について語られた。

奈良西ロータリーカブの植野洋志会長は、これまでの職業奉仕をねぎらい、賛嘆

奈良新聞5月19日掲載



第26回（通算2439回）例会予告
例会日 令和4年6月2日(木)

理事会(現・次)

第2回クラブフォーラム